

公民館図書室のオススメ絵本 Vol.4

読書週間【10/27（木）～11/9（水）】弥彦総合文化会館の職員がオススメする絵本を紹介합니다。いずれも公民館図書室で貸出しをしています。スマートフォンやタブレットを本に変えて秋の読書を楽しんでみませんか？迷ったら、まずはこちらを！

Today

(伊藤比呂美 訳/下田昌克 画)

英語圏の子育てに関係する施設に伝わる作者不詳の詩です。初めて読んだとき共感するとともに、フワッと暖かくなりました。子育て真っ最中の人に、こどもと関わるすべての人に届けたい本です。

(図書室所蔵の本には赤い日本語の帯がかかっていません)



むれ (ひろたあきら)

たくさんの群れの中にいるたった一つのかわりもの(?)。間違い探しの楽しさと、見つけた時の喜び。ユーモラスな表現をなにげなくぼーっと見ている楽しいのですが、「みんなと違うひとつの存在」に考えさせられます。



りきしのほし (加藤休三)

表紙は力士の「かちかちやま」クレヨン画家で絵本作家の加藤休三さんの描くダイナミックで味のある表情がたまりません。毎日稽古に励むけどなかなか強くなれずに「やめようかな」と弱音をまくことも・・・

そんな「かちかちやま」の稽古以外の様子も愛らしく描かれています。



ふたごパンダのころころココロ

(絵 はせがわゆうじ/文 西島三重子)

双子パンダのもふもふしたかわいい動作。読むとやさしい気持ちになれる、読み聞かせにも最適な絵本ですが、あったかい手でふれられたような言葉は、きっとあなたの心にも染みわたります。(私は迂闊にも涙しました)



わたしのワンピース (にしまきかやこ)

うさぎさんのワンピースは不思議なワンピース。それを着てお花畑を散歩すると、ワンピースが花模様になります。次々と周りの風景と同じ模様になります。次はどんな模様になるんだろう？なんて想像していると、物語は思わぬ方向に！お洋服を選ぶワクワクとした気持ちがギュッと詰まっています。私が小さい頃好きだった絵本です。



おじいちゃんとパン (たな)

パンには甘いものを塗って食べるおじいちゃん。開くページのパン全部が食べたくなる！絵の迫りに魅かれて手に取って見たら、「おいちびすけ」と呼びかけるちょっとひねくれたおじいちゃんの言葉と魅力にハマります。(明日の朝はパンかな)



お問合せ先：弥彦村教育委員会 教育課 社会教育係 (94-4311)